

事務 事業名	コード1	23400	市民農園事業	課	農水産課				
	コード2			所屬班	振興班				
				電話番号	68-1174	内線	237		
				☐ 主要事業					
施策 体系	基本方針	5	活力と躍動感に満ちたまちづくり	予算 科目	会計		款	項	目
	施策	1	農業の振興		一般会計		6	1	3
	施策の展開	5	交流事業の促進	根拠 法令	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 旭市民農園貸付要綱				
	基本事業	273	都市との交流促進						

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	都市住民等へ自ら育てた作物を収穫する喜びと、自然に親しむ場の提供 農業体験等により癒し効果を含め、農業の知識・理解の推進 開始 区画数 鎌数 H15.10 当初 68区画 ・H16.11～ 83区画(一般区画:80 福祉区画:2 教育区画:1) 栽培講習会 年1回 岩井 H15.7 32区画(一般区画:32) 福祉区画:一般的な農作業が困難な障害を持つ方用の区画 教育区画:高校生以下の体験学習を目的とする団体用区画 使用料 一般区画:5,000円(1区画/年) 福祉・教育区画:無料 【業務の流れ】 市民農園借受申込書提出→貸付可否決定・納入通知書通知 草刈 新規利用者区画の耕運

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)	単位:千円
1. 需用費	111 光熱水費、修繕料
2. 委託料	80 清掃等委託料
3. 使用料及び賃借料	317 土地等借上料
4. 負担金補助及び交付金	10 土地改良区賦課金
5. その他	645 市民農園改修工事、手数料
【前年度比増理由】市民農園改修工事の実施による増【歳入】市民農園使用収入450千円	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)	単位:時間
貸付決定等事務処理	30h×12ヶ月=360h
農園管理 (草刈り)4人×8h×6日=192h	
〃 (区画整備等)4h×10日= 40h	

	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
事業費 費目内訳	1. 需用費	千円 156	31	11	159
	2. 委託料	千円 105	159	80	265
	3. 使用料及び賃借料	千円 158	317	317	317
	4. 負担金補助及び交付金	千円 10	10	10	12
	5. その他	千円 32	645	93	
事業費計(A)		千円 429	549	1,063	846
うち一般財源		千円 0	124	613	406
人件費	正規職員従事人数	人 0.50	0.50	0.29	0.31
	延べ業務時間	時間 998	998	592	630
	人件費計(B)	千円 3,792	3,792	2,250	2,394
トータルコスト(A)+(B)		千円 4,221	4,341	3,313	3,240

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 維持管理 借受申込受付	ア 指導会・講習会開催回数	回	0	2	0	1
	26年度計画(26年度に計画している主な活動) 維持管理 借受申込受付 栽培講習会	イ 貸出可能区画数(上段:鎌数、下段:岩井)	区画	83 32	83 32	83 32	83 32
		ウ 草刈り回数	回	5	5	4	5
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	農園利用希望者	ア 貸付契約人数(上段:鎌数、下段:岩井)	人	62 10	52 9	49 9	55 10
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・農業者以外の人が農業に親しむことによって、育てる喜びや収穫の楽しみを体験する。 ・農業を使わない農産物作りに挑戦し、その大変さの体験などを通じて農業への理解が進むことの期待。	ア 利用率(上段:鎌数、下段:岩井) (農業体験の交流場としての利用状況の把握)	区画 (%)	78(93.9) 12(37.5)	78(93.9) 12(37.5)	78(93.9) 10(31.3)	78(93.9) 12(37.5)
		イ 新規借受申込者	人			5	4
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・市民と都市住民の交流によって、旭の魅力を十分に発見し・味わってもらおうことで、市のイメージアップへ繋げる ・農水産業のみならず市内の観光・商業の活性化へ広げる。	ア 農業交流人口 ※後期基本計画P90	千人	101	-	-	-
		イ 観光客入込数	千人	909	1,277	1,310	-

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
安全な農産物栽培すること、農業体験等に「心身の癒し」を求め、農村との交流を求めている。こうした癒し・交流の場の提供 体験による農業への知識・理解の推進	利用者のほとんどが市内住民で、市外でも近隣市町の住民である。 鎌数農園は利用率は90%以上と高い 岩井農園は利用率が40%以下と低い 両農園とも長期的な利用者が多く、新規利用者が少ない。	利用者から「農園をもっと整備し、環境をよくしてもらいたい」「使用できる農具・肥料等を充実してもらいたい」「講習会の内容をもっと充実してもらいたい」との意見がある。

事務事業名	市民農園事業	課名	農水産課	班名	振興班
-------	--------	----	------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】  ☐ 結びついている ⇒【理由】 
	この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	農作業と収穫の体験により、消費者の農業に対する理解が進む。しかし、現在、市民農園は千葉県及び東京都の多くの市区町村に設置されており、遠方からの利用者を見込むことは難しいため、都市との交流という目的には適合していない。
	② 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ☒ 適切である ⇒【理由】 
有効性 評価	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	農業者以外の人に、農業の大変さや収穫の喜びを知ってもらうことを目的としており、適切である。ただし、農業への興味はあるが、市民農園の存在を知らない人への周知は必要である。
	③ 行政関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ☒ 妥当である ⇒【理由】 
	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	特定農地貸付法に基づく貸し農園方式の市民農園では、地方公共団体以外が貸し付けを行う場合でも、市は農園開設者と貸付協定を締結するという形で関与する必要があるとあり、また貸し農園方式は採算が取りづらく、民間では提供されにくいいため、現在の関与の仕方は妥当である。
効率性 評価	④ 成果の現状水準	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】  ☐ 妥当である ⇒【理由】 
	あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	鎌数農園の利用率は高く、利用者間で知識が共有されているなど、農業への理解が進んでいるが、岩井農園の利用率が低い点、及び両農園とも新規利用者の応募が少ない点は改善しなくてはならない。
	⑤ 成果の向上余地	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】  ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】  ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 
公平性 評価	次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	農業への関心が高まっているため、広報・HP等での周知により新規の利用者を獲得し、利用率の向上を図る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】  ☐ 連携ができる ⇒【理由】  ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】  ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 
	目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】  ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 
	事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	利用率の向上により、草刈等を行う区画が減少するため、維持管理業務を削減することができる。栽培指導講習会についても、利用者の長期化などの現状を考慮し、開催内容の希望調査を行ったうえで、年に1回の開催とすることで、費用を削減することができる。
	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 
公平性 評価	やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	平成24年度の事務事業評価を受け、貸付決定等の事務作業を各月、1回にまとめることで効率化、講習会についても年に1回の開催としたことで業務時間の削減を図っており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 
	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	利用申込は基本的に誰でも可能である。市外の方は、申込時に身分証明書の提出を求めていること以外に差はなく、他市でも、利用料の差は設けていない。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	鎌数農園は利用率が高いが、岩井農園は所在地がわかりにくい等、利便性が低く、利用率が低い。利用率の向上は目的達成や業務削減につながるため、広報等での募集により新規利用者の獲得が必要。 また、長期利用者及び複数区画利用者が増加しているため、整理するためのルールの作成が必要。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)		※2～3年後を目処にした方向性			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☒ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し	☒ 事業のやり方改善による成果向上	☐ 事業統廃合・連携(関連事業)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持						増加																				
成果	向上	○																											
	維持																												
	低下																												
☒ 事業のやり方改善による事業費削減	☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減	☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化																										
☐ 廃止・休止																													
(2)改革改善案について																													
いつまでに		なにを、どうするのか？																											
H27年度までに		①広報等による積極的な利用者募集 ②市民農園の施設整備・補修 ③目的達成度確認のためのアンケート実施																											
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													
①一度、広報あさひに掲載したが、効果は薄かった。広報に定期掲載するとともに、農園利用者に、市民農園に興味のある人に声をかけてもらえるよう、伝えていく。																													
②市民農園の施設について、利用者からは水道の増設の要望があったが、費用に対して利便性の向上が小さいと思われる。軽微な補修等はその都度対応していく。																													